

10/15学習会 参加者コメント @第3部WS

- 複式学級
- 通学手段
- いじめ・不登校
- 不安
- 不公平感
- 地域と学校
- 統合パターン
- 進め方
- その他
- 会について

複式学級

- 生名や弓削での実際の複式学級の授業がどう行われているか保護者に伝えてほしい。
- 丁寧な指導で学力につけることは複式でもできる。
- 複式学級を挑戦するのもいいのではないか。
- 複式学級の良いところを活かす学級運営が出来れば複式でよいと思います。
- 複式学級のデメリットばかり気になるが、子どもにとって本当にデメリットばかりなのだろうか？親が不安に思いすぎているのではないだろうか。
- 本当に子供のことをを考えているのか！！大人の都合の合併に反対！！
- 何も協議しないまま話を進めてはいけません。複式学級の心配について、学習内容もあれこれくふうしていけないか。
- 少人数の魚島でも立派に教育が出来ている。
- 参加して複式学級とはを学ばせてもらいました。
- 複式学級は反対。不安。

通学手段

提案

- ・始業時、通学バスの二段構え①通常バス②一時間後のバス
- ・クラブ活動移動時のバスの手配 (①5時限終了時②6時限終了時に手配)
- ・スクールバス+町営バスを学生無料に！スクールバスに乗れなくても後からいけるのではないか
- ・通学する方法は未定だが、地域の方も乗れるように考えてほしい。

その他

- ・学校の統合に関しては賛成であるが、通学方法や時間について検討が必要ではないか。保護者や子供の負担が大きすぎる。
- ・中心地に学校ないなら2校存続しかない地理条件。
- ・通学手段は・・・みんなで30分以内になる方法を考えましょう。全国の平均通学時間は22分。
- ・通学問題はどこに学校が決まってものがれられない。方法をしっかり考えてほしい。
- ・子供達の送迎と町民の送迎。まとめてみんなが使いやすいような方法希望。
- ・通学距離から言って弓削はありえないと思います。
- ・交通手段を本当に考えてほしい。みんなが車を持っていると思い込んでいませんか？
- ・通学距離が長すぎるのは問題がある。
- ・弓削小児童が岩城までバスに乗って来られるのか？保護者達も許せるのか？知りたい！！
- ・弓削に決まった場合の送り迎えは絶対無理。島外に仕事に行っているのに迎えをどうしたらよいの？
- ・通学を含めた交通インフラの整備が必要。
- ・車を持たない親は、子供の体調急変時どうやって迎えに行くのか？少数派は無視されるのか？！
- ・あり方検討委員会で“親と長時間車で買い物に出かけられるのだから通学バスも問題ない。”の発言は、毎日1時間、往復2時間かけて通う子供たちの負担を全く考えていない。
- ・子どもの人生の多く時間がバスの中？？車に揺られ続けるのか。
- ・学校から呼び出されたらすぐには迎えに行けません。ですから、遠くの学校へは行けません。家庭の事情を考慮して欲しい。いろいろなことがあります。
- ・通学時間が長すぎる。

いじめ・不登校

- 生徒数がふえると出来ることも増えると思うが、いじめ等の不安も少しある。
- 学校に行きにくい子の対応はどうなるのか？
- 学校が2つないと、不登校の子の行き場がない。

長距離通学

- 毎日の長距離移動は子供に負担大。行きたくなくなるのは・・・？
- バス通学時間が長く、子供の心身にストレスがかかり、不登校になる心配がある。

不安

- 保護者の不安を解消できる考え方を
- 運動会はどうなる？
- 部活はどうなる？
- 町として子育てや、支援の要る子供たちやいろいろな対応をして欲しい。
- 毎日6年間と3年間。クラスのメンバーが変わらないのが良いのか悪いのかが分からぬ。
- 支援級の人数がパンパンになって、丁寧な支援が難しくなるのは？
- 今ままでは不安しかない。希望が持てない。

不公平感

- すべてが弓削に集約。このやり方では上島町の為にはならない。
- 岩城ばかり我慢するのは、同じ町なのに不公平！！
- 学校に限らず、地域間で平等になるといい。
- 何もかも弓削に行ってしまうようで、岩城が取り残されていくようです。

地域と学校

- ・学校がなくなると・・・ピンチはチャンス！！地域力を上げていきましょー。
 - ・地域にとって学校は必要と考えますが、現実の子供たちの減少をよく考えて、どうするべきかよく考えたい！
 - ・学校は地域のコミュニティーの核。だけど...実際そこまで至っていない。
 - ・児童生徒が地域に根ざす教育を目指す。
 - ・ひとつの島に一つの教育機関を！！町で一つの学校にしないで！！
 - ・少人数教育で地域を愛する子も育つ。
 - ・学校がなくなると・・・他の島の学校に行くようになるので、他地域との交流が一気に広がる。つながりが強くなる。
 - ・学校は子供が通う場所。今はなかなか地域の方が行く機会がない。1校になった際には交流の場を作りたい。
 - ・学校の統廃合はあなたの介護や老後。未来の問題である。
- 身近に学校がなくて、あなたの子供に“帰っておいで”といえるだろうか？
- ・岩城島の人々の意識企画が必要な時。皆で地域を守る。
 - ・学校問題は地域を支えてきた産業、人生の先輩たちへのリスペクトに欠ける。
 - ・風土風習文化は各島で異なる、岩城独自のものを尊重する。
 - ・学校は地域の宝。子供の姿を常に近くに見てみたい。
 - ・岩城の誇りを保て！
 - ・子どもは宝です。地域の方々に支えられて子供を育てました。
 - ・岩城にしかない価値。“民間”で雇用・仕事を生み出しお金を稼げる。
 - ・楽しい地域の行事。特に氏子としての伝統の祭り。
 - ・子どもたちの笑い声に支えられ元気をもらえます。
 - ・岩小の地域学習はステキです。うまい会、盆踊り、海原獅子etc
 - ・小学校がある方が移住者が多いのでは？また、地元に戻ってきやすい。
 - ・学校のない地域に新しく来る人はいないと思う。また、戻ってくる人もいない。
 - ・学校の統廃合はあなたの過去と未来をつなぐ問題。岩城から絶対に学校はなくなる。
 - ・学校がなくなったら、島の将来が心配。
 - ・氏子がゼロになる未来に直結している。島の未来はない。
 - ・地域に教育機関は必須！！なくなれば人口は増えることはない。減ることばかりと思う。
 - ・橋がつながらなければよかったですのに、という気持ちを持つ人もいます。
- 地域から学校がなくなると、岩城から離れる人も出てくると思う。
- ・地域の将来を考えると不安。
 - ・地域が存続できない。
 - ・統合はいつかやってくる。しかし今ではない。岩城の良さ、歴史、住民の素朴さが消えてしまう。
 - ・岩城小中がなくなれば、地域が今後どうなるのか不安。学校がない地域に若い人たちが住もうと思うのか。
 - ・学校の存在は地域の生命線である。なぜなら若い人が二度と戻らない。
 - ・上島町の地理的条件は他所と違う。

統合パターン

岩城小存続・統合反対

- ・岩城小学校を存続させてほしい。
- ・岩城に学校存続。
- ・岩城小はもう少し単独でいいのでは？先に生名小は弓削小と統合して残せるなら岩城に学校を残したい。
- ・とにかく岩城小を残してほしい。複式でもいいので残すように頼みたい。
- ・岩城中を利用して小学校の授業を行う。150年の岩城の名をのこす。
- ・弓削小と岩城小（岩城中の建物使用）
- ・二校あるから集う時の意義もできる。一校になると多くの機会消失になる。
- ・統合は反対。百歩譲って生名小だ。弓削はありえない。
- ・統合反対。
- ・とにかく統合はやめてほしい。

岩城小中（一貫校）

- ・岩城の小中学校の存続が一番よいと思います。
- ・岩城地区小中2校
- ・岩城の小中一貫校もいいのではないか。
- ・岩城小中一貫校の案もよい。
- ・岩城中に小中を集めて存続。なんとか岩城に！！

生名

- ・生名を基点に統合出来たらいいと思う。
- ・統合になるなら弓削、岩城の中間点、生名にする。
- ・岩城小 + 生名小 → 上島小（生名で）

その他

- ・一校にするために良い方法を考える会にして欲しい。
- ・小学校より先に中学校を統合してみて問題点を考えてみる。

進め方 1/2

議論不足

- いろいろなやり方を調べ考えて、どんな方法が最適最良か、じっくりやるべきだったのではないか。
- 統合を急ぐ理由は何なのか？
- まずは多くの人の意見を時間をかけてひろう。
- 統合は本当に子供たちにとって重要です。いろいろな会議を開いて、保護者、地域の人、行政等、みんなで協議するのがいいと思う。
- とにかく拙速。十分な話し合いを。
- 十分な検討をして答えを出すべき。
- もっとみんなで時間をかけて話し合いをしていくべき。
- もっと話し合いが必要。
- もっと時間をかけて、地域の理解を得るべき。
- 場所と時間がなさすぎる。
- 三島間で話し合いが必要。どこまでわかっているのか？時間が必要。このままで大丈夫なのか。

学校の在り方検討委員会問題

- 学校在り方検討委員会の問題点を追及して欲しい。その委員会だけで決めるのはいかがなものか。
- あり方検討委員会に住民の意見が反映されてない。
- 委員のメンバー等少ないのでないのではないか？どうやって委員を選出しているのか？
- アンケートは各保護者だけであったが、まず地域住民にも説明とアンケートが欲しかった。いきなり新聞に載って、ただただ驚くばかりでした。

住民へ説明を

- 弓削中に統合した時の状況を、しっかり岩城の住民等に説明してほしい。
- 住民の理解を得るため、丁寧な説明をする。
- 第一に住民説明会を開いてほしい。
- 弓削中に統合した時の状況を、しっかり岩城の住民等に説明してほしい。

情報不足

- 建て替えの試算等きちんと出す。
- 必ず、隨時情報を公開する。
- 小中保護者の考え方が一般住民にはわからないので知りたいです。

進め方 2/2

子どもの意見

- ・地域住民の学校に対する思いもあると思うが、子供や保護者はどう考えているのかが重要。
- ・子どもがどうしたいかも聞くべきではないか。うちの子は弓削には行きたくないと言っている。
- ・子ども真ん中で進めてほしい。
- ・子どもの意思表明権はどうなんか？
- ・子どもたちにとって良いことを一番に考えてほしい。
- ・子どもの意見を聞く。尊重する。
- ・子どものきもちをいちばんに！！どうしたいのか聞くべきは子供に。
- ・子どもの負担にならないような通学や教育環境になって欲しい。
- ・子どものことを第一に考えてほしい。

その他

- ・行政は“あなたの課題”を自分で解決することを考えている。なぜなら、他地域や多世・代にとって『学校統廃合は岩城島の子供と親が我慢すればいいから。』なぜなら、誰かの課題であって、『あなたの問題』ではないからだからなめられる。
- ・住民の意見を大切にした欲しいと思います。署名活動もしたらよいと思います。
- ・地区の人々の意見を聞くことが第一。答申の前にやるべきことを、今からでもやってください。
- ・住民を大切に考える。
- ・住民の分断を発生させる現在の統合のすすめ方はやめてください。
- ・自分の近くの学校の人たちだけでなく、他の地域の人の話に耳を傾けて、みんなにとって良い方法を考えていく。
- ・意思決定者や組織を明確にしておいてほしい。
- ・町立なので町長、教育長の考え方ひとつ。
- ・いま、統合の話がどこまで進んでいるのか。まだ変更はできるのか。

その他

- ・新しいイエナプラン学校もいいかもしない。
- ・教育に適したICTも進化中。日本中、世界中で少子化が当たり前。昔とは違う。
- ・行事等、子供たちだけではできない事は、一般の人を巻き込んでやってみてはどうか？
- ・魚島の子も50分で通える。
- ・いかなる結論となっても、上島町にて連携してゆきたい。
- ・子ども家庭長は不要！その予算7.3兆円を、新生児68万人に配ればひとり一千万円受け取れる。
- ・人数が増えたら先生が増えるとは限らない。地域の協力者が必要。
- ・統廃合後の建物活用は？
- ・岩城は弓削生名と比べると動き出しが遅く感じた。
- ・弓削中と生名中が統合したけれど、現実はどうだったのだろうか？
- ・学校がまわらない。一年目には主な行事等決めなければならない。
- ・あまり知らなかった。知らされていないかな？
- ・今は小学校と保育所が近くてよい！！
- ・減っていく行政サービス、医療サービスを放置。潮湯などの施設の廃止。
- ・非常に難しい問題。
- ・このままだと子供たちの心が心配。小6や中3で一緒になることや距離、～したいという思い。などなど

会について

- そもそも論としてこの会の目的は何か？統合に反対なのか。岩城に学校がなくなることに反対なのか？
- せっかくの勉強会なので次回も開いていただいてもっと情報を交換して欲しい。
- インクルーシブ教育のことをもっと知りたい。どんな教育方法なのかわからない。資料がなく、よく聞き取れないのが残念です。
- 今日の説明会は資料もなく、スライドの字も見えないし、聞き取りにくいしよくわからなかった。
- 勉強会を開催してくれてありがとうございます。
- 本日の会は本当に勉強になりました。
- 学校の在り方なので保護者の人の参加者がいないのが残念です。

資料を・・・

- 資料かめってもよかったですかも。お金がかかるから。
- 次回の開催時には資料がほしいです。ペーパーレスで大丈夫。お金をかけない会にしましょう。